

その他の調査結果

(米以外の農作物等のイメージングプレート画像)

平成26年8月

※ 調査結果を引用する場合のお願い

本調査結果の中には、イメージングプレート(放射線を高感度に検出するX線写真)による画像が含まれています。

その多くは、放射性物質の位置がわかるように、イメージングプレートの画像と通常(可視光の写真)の画像を重ね合わせて合成していますが、あくまでも合成画像であり、実際の農作物等が黒く見える訳ではありません。

合成画像を引用する場合は、上記のような説明を付すなど、誤解が生じないようにご配慮をお願いいたします。

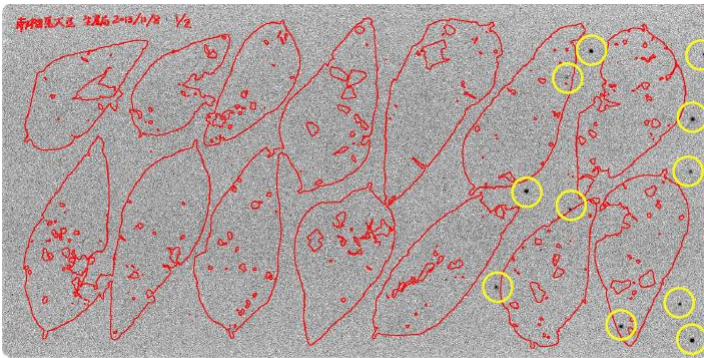
1. 大豆(葉)

○ 基準値超過が検出された旧石神村や旧太田村で生産された大豆について調査したところ、葉の表面に点的な汚染が見られるものがある一方、汚染は検出されるものの、葉に付着しているとは必ずしも認められないものや、葉の点的な汚染が見られないものもあった。

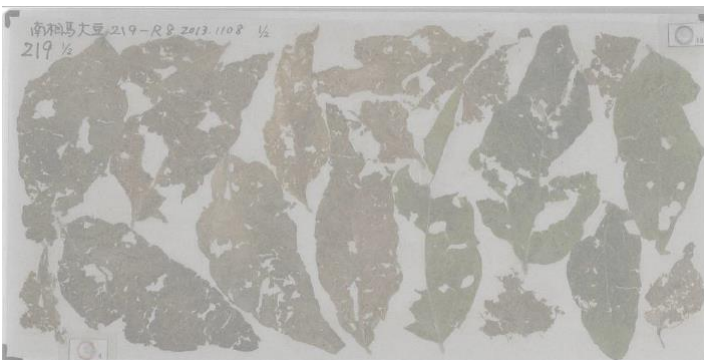
- (a) 南相馬市旧石神村で採取された25年産大豆の葉
(当該ほ場で採取した子実の放射性セシウム濃度は、79.0 Bq/kg)



- (b) 南相馬市で採取された25年産大豆の葉
(南相馬市の基準値超過が見られた地域で採取されたものであるが、子実の放射性セシウム濃度は不明)



- (c) 南相馬市旧太田村で採取された25年産大豆の葉
(当該ほ場で採取した子実の放射性セシウム濃度は、74.7 Bq/kg)



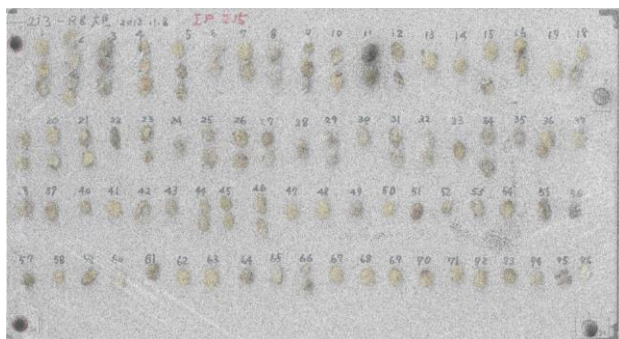
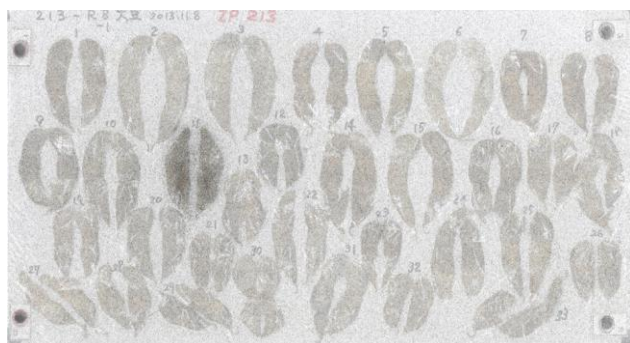
(注) (a)と(c)は、可視画像とイメージングプレート画像を重ねたもの。

(b)は、イメージングプレート画像。

2. 大豆(莢、子実)

- 莢と子実の一部が汚染された事例が確認された(なお、当該ほ場で採取した子実の放射性セシウム濃度は基準値を下回っていた)。
- 他方、基準値超過が検出された子実であっても、直接汚染の可能性を示す明確な濃淡は見られなかった。

(a) 南相馬市旧石神村で採取した大豆の莢と子実
(当該ほ場で採取した子実の放射性セシウム濃度は、79.0 Bq/kg)



莢や子実の一部に放射性物質の検出がみられるものの、米の直接付着の例のようなはっきりした濃淡はみられない。

(b) 南相馬市旧石神村で採取した大豆の子実
(当該ほ場で採取した子実の放射性セシウム濃度は、120 Bq/kg)



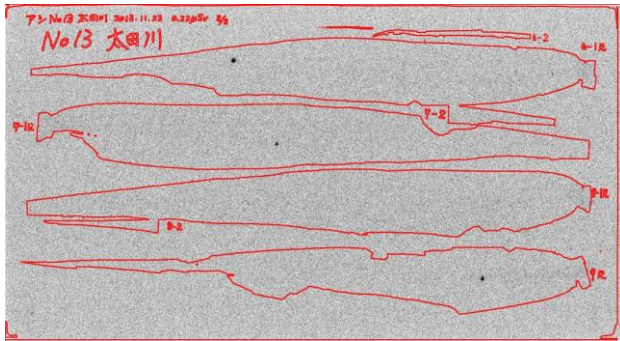
放射性物質の検出がみられるものの、米の直接付着の例のように濃淡がはっきりしておらず、粒全体が汚染されているものは見られない。また、子実のすきまに検出がみられることから、夾雑物混入による二次汚染の可能性もある。

(注) (a)と(b)は、可視画像とイメージングプレート画像を重ねたもの。

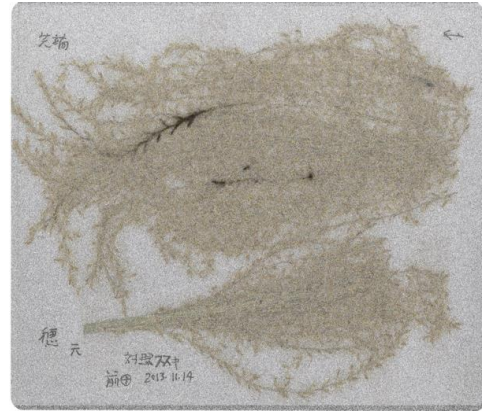
3. その他の植物(野草)

○ 米の基準値超過が発生した地域から採取した野草の穂や葉については、点的な汚染が見られるものと見られないものが確認された。

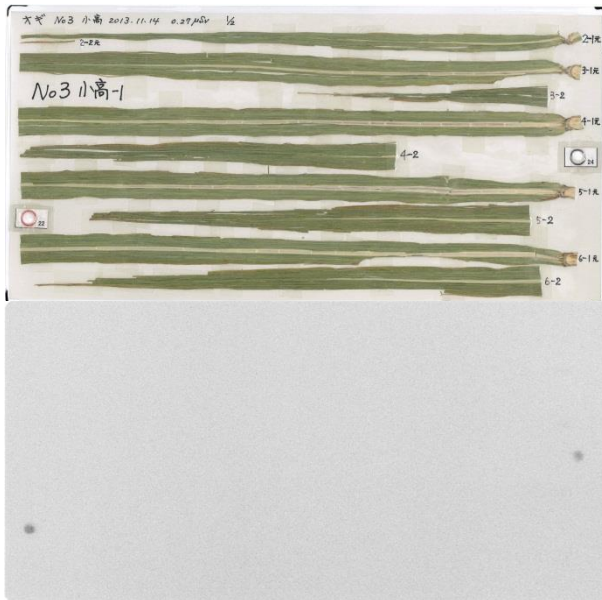
(a) 太田川の周辺で採取したヨシの葉



(b) 南相馬市旧太田村で採取したススキの穂



(c) 南相馬市小高で採取したオギの葉



(d) 南相馬市太田神社で採取したアシの穂



(a) は、イメージングプレート画像。

(b) は、可視画像とイメージングプレート画像を重ねたもの。

(c) と (d) は、可視画像(上段)とイメージングプレート画像(下段)を別々に示したものの。

4. その他の植物(トウガラシ)

○ 点的な汚染が確認された。

浪江町で採取した自家採取用のトウガラシの実
(写真のトウガラシのの実の放射性セシウム濃度は、200 Bq/kg)

可視画像



イメージングプレート画像

